



2015年12月期第2四半期
決算説明会

株式会社 妙徳

2015年8月28日

目次

1. 2015年12月期第2四半期決算説明
2. 2015年12月期業績予想、株主還元
3. 今後の取り組み

2015年度第2四半期連結業績

前期比 売上高12.8%増、経常利益19.7%増 増収増益

特別損失計上により 四半期純利益は前期比減益

(単位：百万円)

	2014年 2Q実績	2015年2Q予想 (4/21発表)	2015年 2Q実績	増減率 (%)	
				前期比	計画比
売上高	1,137	1,268	1,283	12.8	1.2
売上総利益 (売上総利益率)	642 56.5%	744 58.7%	794 61.9%	23.7	6.8
販売費及び一般管理費	436	527	551	26.4	4.6
営業利益 (営業利益率)	205 18.1%	216 17.1%	242 18.9%	18.0	12.1
経常利益 (経常利益率)	210 18.5%	223 17.6%	251 19.6%	19.7	12.8
税引前四半期純利益	210	130	159	▲24.2	22.3
四半期純利益 (四半期純利益率)	138 12.2%	79 6.3%	111 8.7%	▲19.8	39.8
1株当たり四半期純利益	18円62銭	10円78銭	15円07銭	▲3円55銭	+4円29銭

特別損失
役員退任慰労金94百万円

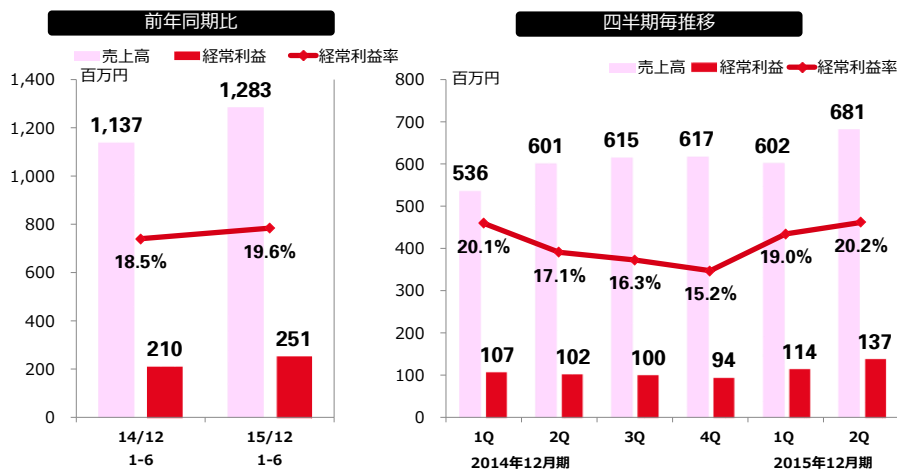
Myotoku Ltd.

2

連結売上高、経常利益推移

前期比 売上高12.8%増、経常利益19.7%増 増収増益

15/4-6月 韓国および中国 売上高が伸長

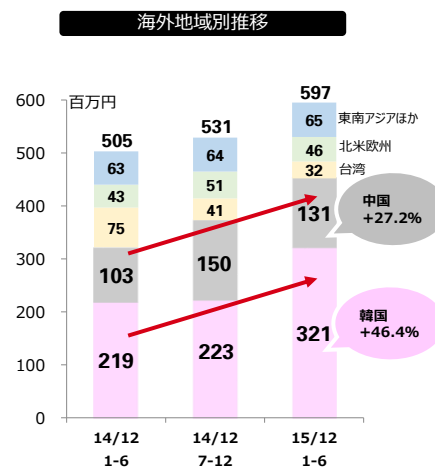
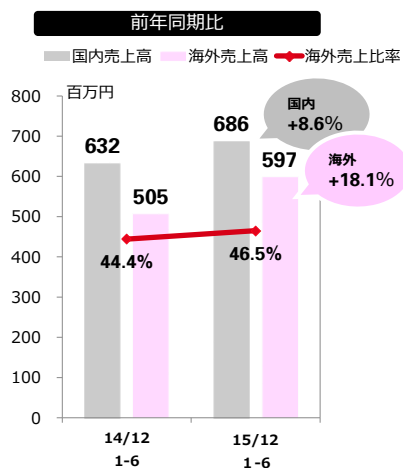


Myotoku Ltd.

3

連結国内海外別売上高

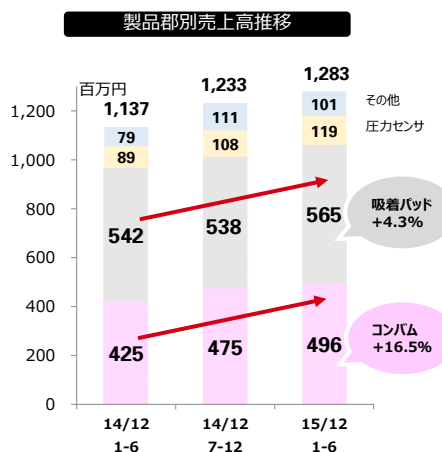
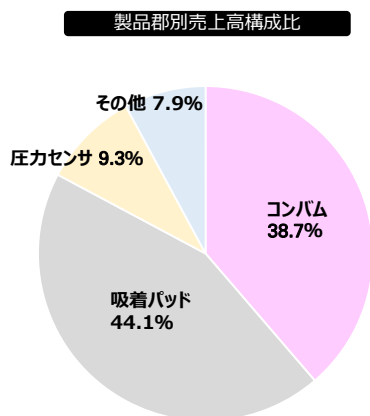
連結売上高 前年同期比+12.8% 韓国、中国がけん引 海外比率46.5%



連結製品群別売上高

コンバムの新製品投入による売上高増加

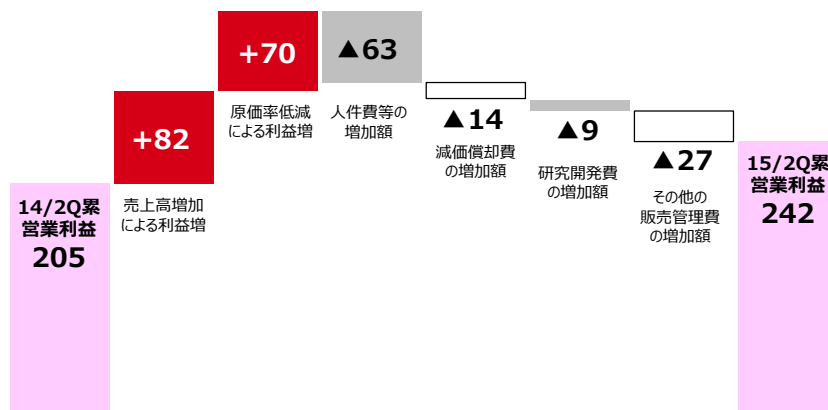
市場稼働率増による吸着パッド需要増



利益増減要因（前年同期比）

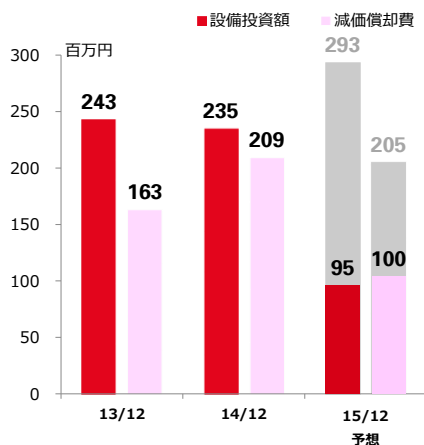
- 売上高増に伴う生産効率UPによる増益
- 研究開発強化及び展示会積極出展による費用増

（単位：百万円）



連結設備投資、減価償却費

- 基幹システム投資 2014～2015年 104百万円
- 工場機械設備への積極投資



15年の主な設備投資内容

基幹システム投資	68百万円
システム関連投資	14百万円
機械設備関連投資	81百万円
放電加工機、自動旋盤等	
製品金型投資	39百万円
工場改修投資	24百万円
自動機関連投資	13百万円

（金額は通期予想）

連結財務状況

無借金経営の継続

自己資本比率 87.8%

(単位：百万円)

連結貸借対照表

	2014年 12月期末	2015年6月末	
			前年比
流動資産	1,735	1,855	+119
固定資産	2,286	2,310	+24
資産合計	4,021	4,166	+144
流動負債	322	350	+28
固定負債	125	138	+13
負債合計	447	489	+41
純資産合計	3,574	3,676	+102
負債・純資産合計	4,021	4,166	+144
自己資本比率	88.3%	87.8%	▲0.5pt

連結キャッシュフロー計算書

	2014年 2Q累計	2015年 2Q累計
営業キャッシュフロー	126	190
投資キャッシュフロー	▲149	▲22
財務キャッシュフロー	▲43	▲40
現金及び現金同等物の増減額	▲70	126
現金及び現金同等物の期首残高	693	624
現金及び現金同等物の期末残高	622	751

目次

- 2015年12月期第2四半期決算説明
- 2015年12月期業績予想、株主還元
- 今後の取り組み

2015年12月期連結業績予想

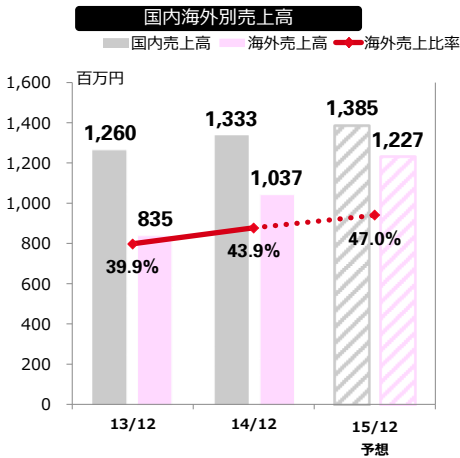
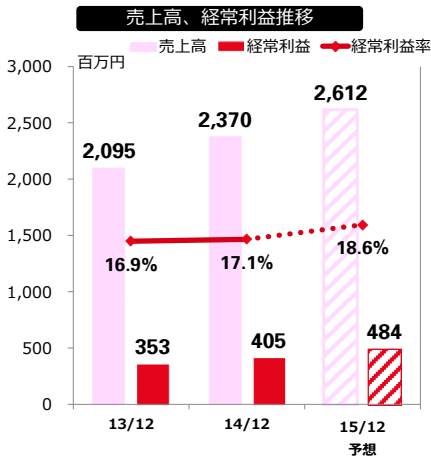
2015/8/3通期予想修正を公表
前期比 売上高 +10.2% 経常利益+19.7%

(単位：百万円)

	2013年 通期実績	2014年 通期実績	2015年 通期予想	前期比	
				増減額	増減率 (%)
売上高	2,095	2,370	2,612	241	10.2
営業利益 (営業利益率)	342 16.3%	374 15.8%	466 17.8%	91	24.4
経常利益 (経常利益率)	353 16.9%	405 17.1%	484 18.6%	79	19.7
税引前当期純利益	356	406	392	▲13	▲3.4
当期純利益 (当期純利益率)	225 10.8%	234 9.9%	270 10.3%	35	15.1
1株当たり当期純利益	29円75銭	31円54銭	36円50銭	+4円96銭	15.7

2015年12月期連結業績予想

売上高 前期比 国内+3.9% 海外+18.3%
海外売上比率 47%



配当について

配当性向25% 安定的、長期的な利益還元

	2010年12月期 (9ヶ月間)	2011年 12月期	2012年 12月期	2013年 12月期	2014年 12月期	2015年12月期 (予想)
中間配当	7.0円	5.0円	4.0円	3.5円	5.0円	3.5円
期末配当	3.0円	5.0円	3.5円	4.5円	4.0円	5.5円
年間配当	10.0円	10.0円	7.5円	8.0円	9.0円	9.0円
1株当たり 当期純利益	38円75銭	39円78銭	23円74銭	29円75銭	31円54銭	36円50銭
配当性向	25.8%	25.1%	31.6%	26.9%	28.5%	24.7%

2014年12月期は配当は、記念配当1.0円(中間配当0.50円、期末配当0.50円)を含む

中期ROE目標 10%超

	2010年12月期 (9ヶ月間)	2011年 12月期	2012年 12月期	2013年 12月期	2014年 12月期	2015年12月期 (予想)
ROE 自己資本当期純利益率	11.3%	10.6%	5.9%	6.9%	6.8%	7.2%

Myotoku Ltd.

12

株主還元

株主総還元率 50%

自己株式の継続取得を実施

株主総還元率

(単位：百万円)

15年通期予想
当期純利益
270

配当金 66

自社株買い70

50%

自己株式取得の状況

取得実施期間	取得株式数	株式取得価格の総額
2012/2/15～2012/8/31	25,000株	4,738千円
2012/11/12～2013/5/11	86,000株	18,401千円
2013/5/14～2013/11/13	83,000株	21,923千円
2013/11/14～2014/5/13	76,000株	19,747千円
2014/5/14～2014/11/13	18,000株	4,914千円
2015/2/16～2015/8/14	102,000株	32,056千円
2015/8/17～2016/2/16	111,000株	37,740千円
上記期間合計(最大)	501,000株	139,519千円

実施中
(上限)

発行済株式総数 8,285,000株
うち自己株式数 888,794株
(2015年8月10日時点)

Myotoku Ltd.

13

目次

1. 2015年12月期第2四半期決算説明
2. 2015年12月期業績予想、株主還元
3. 今後の取り組み

方針

｜スローガン「コンバム パッド ナンバー1」

売上規模の拡大

- ・ 海外販売規模の拡大 海外比率50%超へ
- ・ 国内市場シェアの奪回に向け、産業用ロボット周辺需要の獲得

製品競争力の強化

- ・ 製造工程自動化による競争力強化
- ・ 部材適正化によるリードタイム圧縮

研究開発型 企業への転換

- ・ 海外生産移管、地産地消体制へ
- ・ 基礎研究による技術の蓄積
- ・ 市場ニーズに応える製品開発、市場投入

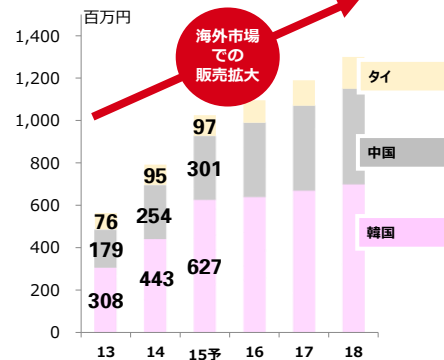
海外販売規模の拡大 海外比率50%超へ

アジア市場での更なる販売拡大を目指し、現状の戦略を推進

- ✓ 展示会出展・広告によりブランド認知度の向上
- ✓ 製品ラインナップの充実
 - ・韓国R&D部門の立上げ
 - ・各国市場向けロースペック製品投入
 - ・現地生産機種拡大



販売拠点別売上推移



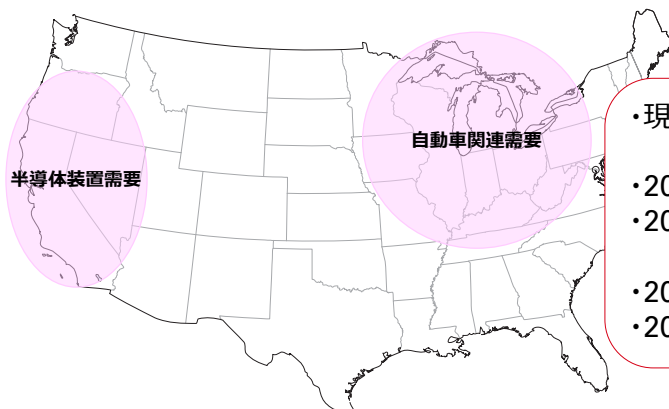
Myotoku Ltd.

16

海外販売規模の拡大 海外比率50%超へ

北米市場の開拓

- ✓ 北米市場はアジア同等の市場規模
- ✓ 当社強みである、半導体、自動車関連市場の開拓を目指す



- ・現状：販売店を通じての販売活動
約40百万円/年
- ・2015年：市場調査
- ・2016年：駐在拠点設置
顧客開拓および販売網の構築
- ・2017年：拠点開設と新製品投入
- ・2018年：150百万円/年の増収目標

Myotoku Ltd.

17

国内市場シェアの奪回

産業用ロボ周辺需要の獲得

- ✓ 産業用ロボット装置のシステム受注
 - ・吸着搬送ノウハウを活かし
搬送、組立、検査、梱包工程に特化
 - ・営業拠点へのデモ用スカルロボットの設置
営業マンのロボット教育
- ✓ 大阪ショールーム開設
 - ・2015年8月開設
- ✓ 全国の展示会へ積極出展しPR
 - ・2015年5月 MEX金沢(石川)
 - ・2015年6月 実装プロセステクノロジー(東京)
西日本製造技術イノベーション(福岡)
 - ・2015年10月 機械要素技術展(大阪)
メカトロテックジャパン(愛知)
- ✓ 販売促進の強化
 - ・HPの拡充、販促資料の刷新



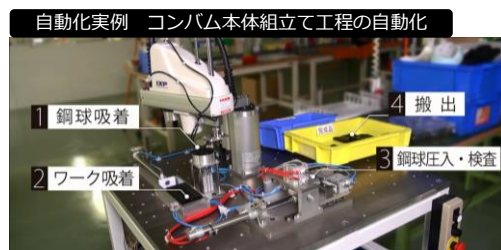
製品競争力の強化

当社生産工程の自動化を推進

- ✓ 省人化モデルラインとしてPR
- ✓ 生産性の向上、品質の安定化
- ✓ 価格競争力の強化

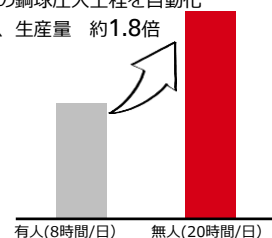
部材適正化によるリードタイム圧縮

- ✓ 受注後3日後出荷体制の構築
 - ・機会損失を低減、当日出荷体制へ
- ✓ 基幹システムの刷新
 - ・2015年8月稼働開始
 - ・オペレーター業務の効率化、
製造リードタイムの圧縮へ、
 - ・更に1.5次～2次投資 業務改革へ



コンバム本体への鋼球圧入工程を自動化

- 無人化により、生産量 約1.8倍



海外生産移管

量産工場(低付加価値工場)からマザー工場(高付加価値工場)へ

- ✓ 量産品を海外へ生産移管
- ✓ 新たな技術の習得、研究開発、生産技術の蓄積

岩手事業所
既存のコンバム、吸着パッド、センサーなど



海外へ生産移管
地産地消体制へ

新しい技術の習得

設計・試作・金型製作・射出成型・ゴム成型・自動組立まで
一貫して内製化

研究開発型企业への転換

研究開発の体制強化に注力

- ✓ 各国、各業界別市場の動向調査
- ✓ 基本性能向上のための基礎研究
- ✓ 既存技術の応用

次世代製品の
市場投入

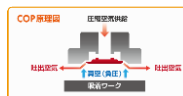
新製品

金属検知機用パッド



- ・金属検知機で検知可能な
ゴム吸着パッド
- ・食品医療関連の異物混入対策

非接触ハンド



- ・既存製品、非接触パッドの改良
- ・非接触搬送で、真空吸着困難な
搬送物を、吸着搬送

コンバムユニットsc1シリーズ



- ・既存コンバムの改善
- ・騒音値を最大12%削減

会社概要

(2015/6/30)

会社名	株式会社 妙徳 （英語表記：Myotoku Ltd.）
創立（設立）	1951年4月16日
本社所在地	東京都大田区下丸子2-6-18
代表者	代表取締役社長 伊勢 幸治
資本金	7億4,812万5千円
国内拠点	岩手、東京、名古屋、大阪、福岡
連結子会社	妙徳空霸睦機械設備（上海）有限公司（中国上海、深セン、重慶） CONVUM KOREA L t d . （韓国ソウル、釜山、天安） CONVUM（THAILAND）Co.,L t d . （タイ国バンコク）
連結従業員数	107名（単体65名）
発行済株式数	8,285,000株
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場 証券コード：6265

CONVUMって何？

CONVUM（コンバム）は、圧縮空気を利用して真空を発生させる装置の当社ブランド名です。

コンバムは主として、各種製造工場における各工程の自動化装置において、対象物を吸着固定、吸着搬送するための把持装置として使用されております。

当社製品の使用事例



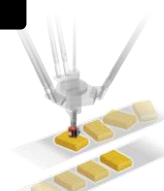
自動車フロントガラスの吸着



電子部品・半導体部品の実装



ロボットを利用した吸着搬送



お問い合わせ先

IR統括責任者 代表取締役社長 伊勢 幸治

お問い合わせ先 取締役執行役員経営企画担当 泉 陽一

経営企画部長 篠原 康隆

TEL : 03-3759-1491 / Email : info@convum.co.jp

HPでは会社情報を随時更新しております。 URL : www.convum.co.jp

株式会社 妙徳

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づいたものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。